

## 平成31年度予算額 6.9億円（7.0億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- IoT・AI分野を中心とした技術革新を背景に、従来の医療現場では活用できなかったデータが活用可能になりつつあります。そのような新たな健康・医療データの活用により、患者個別の状態に応じた治療方針が実施可能となるなど、医療現場におけるプロセスイノベーションが進展し、既存の医薬品や医療機器の治療成果が向上することが期待されます。
- そこで、本事業においては、平成29年度から実施している健康・医療情報活用行動変容促進事業を継続するとともに、当該事業の発展として、医療現場と民間企業が連携し、健康・医療データを活用することで、既存の医薬品や医療機器の治療成果の向上を図る実証事業を実施します。

#### 成果目標

- **糖尿病及びその他の疾患領域の予防・改善につながるサービスの高度化やその効果についてのエビデンスの構築**を進め、保険者等へのサービスの導入・普及を目指します。
- また、平成31年度から平成33年度の3年間で、健康・医療情報の活用によるプロセスイノベーションが、治療成果向上や医療現場の負担軽減につながるエビデンスを構築するとともに、医療機関と民間企業が共同で研究開発にあたる場合の課題の整理を行い、プロセスイノベーションを創出する**研究開発拠点の構築及びそれに向けたノウハウの蓄積を目指します。**

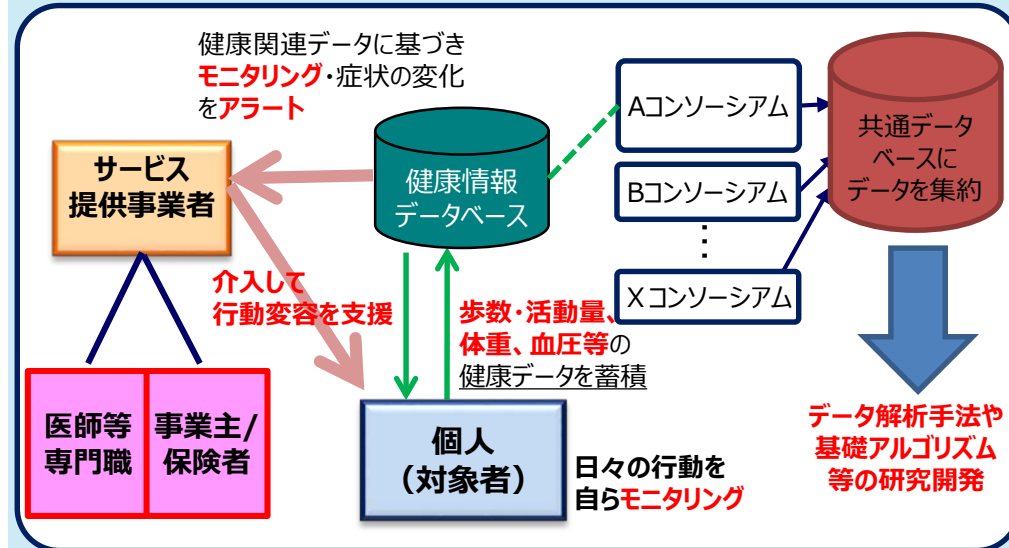
#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### （1）生活習慣病等の行動変容促進を図る実証研究開発

<企業・保険者・医療関係者・研究者等のコンソーシアム>



#### （2）ヘルスケアシステム研究開発事業

- 医療機関、製薬企業・医療機器メーカー、ヘルスケアIT企業等からなるコンソーシアムを構築し、従来の医療現場では活用できなかったデータを収集・活用を行うサービスの活用することで治療成果等の向上を図る新たなヘルスケアソリューションの検討を行い、研究プロトコルを策定します。
- 研究プロトコルに基づいて研究を実施し、ヘルスケアソリューションが治療成果向上や医療機関の負担軽減につながるエビデンスを構築します。
- 成果が速やかに社会実装されるよう、研究事業の中で、同意取得の方法や成果に係る権利関係の整理など、医療機関と民間企業が共同して研究開発にあたる場合の課題の整理を実施します。